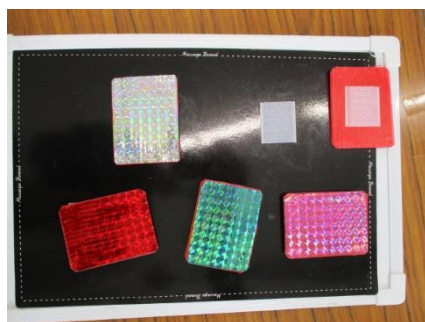


主に関係する 領域・教科	自立活動	氏名：西田孝子
教材・教具名	感覚フィードバック教材	
ねらい	発達の初期段階にある子の自発的な操作の経験を増やす。	

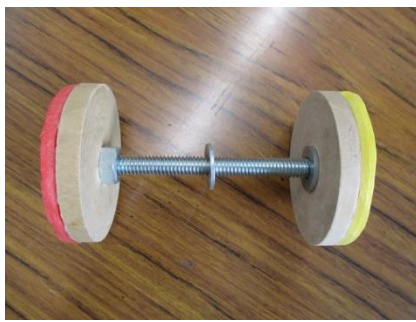
## 教材教具の説明

- ①キラキラカードはがし：黒の台紙に、ホログラムシールを貼ったカードを面ファスナーで貼り付けたもの。コントラストがはっきりしていて目につきやすく、むしった時の感覚も楽しめる。
- ②ワシャワシャワッシャー：ワッシャーが上下に回転する時の動きと振動を楽しむ。
- ③ボールチェーン：切り込みを入れた容器からチェーンを引き出す手の動き、振動、音を感じられるようにした。

①



②



③



※すべて『実践障害児教育 2017・12月号』「教材が導く気づきの世界」を参考にした。

制作のポイント	使用材料・部品
<ul style="list-style-type: none"> <li>目につきやすいような配色</li> <li>触ってみてすぐに楽しめる</li> <li>音が出る、振動する</li> <li>口に入れても安心な材料</li> </ul>	<p>①プラスチックダンボール、ホログラムシール、面ファスナー、黒ボード</p> <p>②ワッシャー、ボルト、棒ネジ、丸板</p> <p>③プラスチック容器、浴槽チェーン、カーテンリング</p>

実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイルームでの自立活動の時間に提示。</li> <li>・興味を持って触って遊ぶようになれば、刺激の幅を広げながら、自発的に操作することが増えていくようにしていく。</li> </ul>
効果・改善点等	<p>①めくる時の感触や色を気に入り、長い時間遊んだ。貼ってあるものを替えて、当番活動に広げてくれている。</p> <p>②口にくわえながら、自分でワッシャーを動かしたりして遊ぶ。本体を上下にひっくり返すことはしていないが、いろいろな物を口にくわえながら操作するようになった。</p> <p>③チェーンを引っ張る動きをねらっていたが、それはできていない。出したチェーンを手のひらで転がす感触を楽しんでいる。</p>